

第 1 回愛西市健康なまちづくり事業 作業部会での意見

令和 4 年 8 月 1 日実施

運動支援事業について

●報告書の中でアプリの活用を勧める声があったが、事務局としてはどう考えているか

→健康マイレージ事業において県と共同で運用している「あいち健康プラス」は、無料でダウンロードでき、本事業と同様にバーチャルウォーキング、歩数の管理の他、同年代での歩数のランキング、体重等の管理も可能。

活動量計の耐用年数が 3～5 年で、1 期から参加している人は 6 年目となり、故障の問題も出てくる。しかし、活動量計を持って参加費を払って事業に参加していることがモチベーションアップにつながっているという意見も聞く。

→ほかの部会員から活動量計の使い勝手の悪さ、管理、携帯を忘れてしまうこと等から、今後の方向性としてアプリを勧めていくことで話がまとまる。

●バーチャルウォーキングのコースは以前のコースは馴染みがないものも多かったため、コースが複数あり、自分で選択できると楽しいのではないか

→今後検討。例えば「あいち健康プラス」では愛知県内で複数のコースが設定されており、自身で選択が可能。

●愛知県との共同実施とのことだが、愛西市の独自性をアプリ内で出すことは可能か

→お知らせ機能で市の情報を配信することは可能。独自のコース作成など、どこまでできるかは今後確認と検討が必要。

●子どもと一緒に事業へ参加ができればやる気につながるのではないか。大人が一人で運動するのは難しいため、子どもがやる気になれば親・祖父母が引っ張られて良いのではないか

●教育委員会としても子どもの体力低下は問題となっており、スポーツ少年団の周知を行っている現状。

●アンケートが紙媒体のため、記入が面倒。

→今後検討。ただし「あいち健康プラス」でアンケート機能はあるため、活用することは可。

●新型コロナの影響でスポーツ施設の利用者は減少。新規利用者は少ない現状。報告書でも知人からの紹介が多いため、口コミをうまく活用できると良いのではないか。今年度のチラシはすでに完成しているが、参加者の声を入れると良いのではないか

→参加者へはチラシの他に案内も同封するため、その案内には参加者の声を記載した。

あいさい野菜メニュー提供店スタンプラリーについて

< 事業周知方法等について >

- ・産業振興課：総会等はずでに終了しているため、個別でどこまで周知に協力できるか約束は難しい。
- ・秘書広報課：LINE・広報・SNS 等発信手段あるため、活用してほしい。
- ・商工会：月に 1 回商工会会員へ配布物があるため、周知に活用することは可能。
- ・スポーツ課：体育大会、いきいきジョギング等のイベントで事業の案内は可能。
- ・観光協会：8 月後半の理事会で決定となるが、イベント（スタンプラリー）を企画している。参加者を多く集めたいため、市とのタイアップができるとうい。